

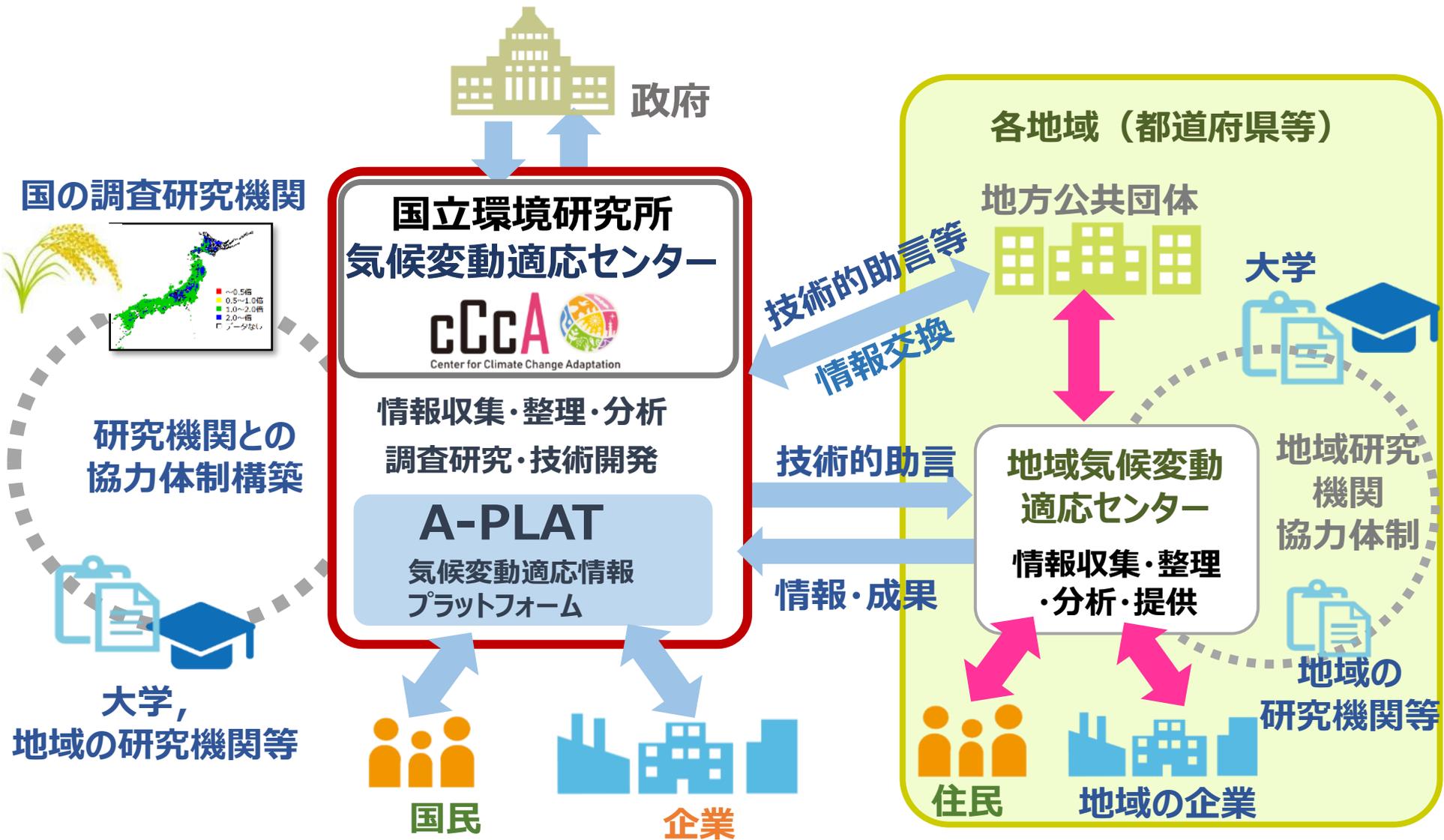


国立環境研究所の取組について

令和6年10月8日（火）
国立環境研究所 気候変動適応センター



国環研・気候変動適応センターのミッション



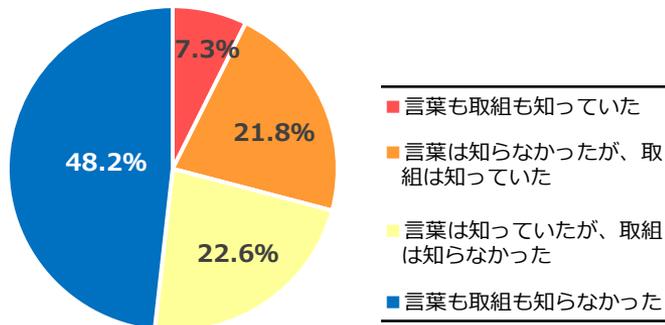
- 令和 6 年度国民理解度調査について
- 国立環境研究所の最近の取組

国民理解度調査- 1

- 気候変動適応に係る国民の理解度を図るため、全国11,286人を対象にWebアンケート調査による計測を実施。
- 気候変動の影響や適応策に関する**認知度・関心度**は、**令和4年度と比較し増加**。
※暑熱や気象災害（防災対策）、農水産品への影響に関する関心増（昨年夏の記録的猛暑等の影響か）
- 年齢層が上がるほど関心度等も高まる傾向。
- 気候変動適応の**認知経路**については、**若年層はSNSや学校教育、高齢者層はテレビや新聞等**が多い傾向。一方で、今年度調査では**高齢者層でもSNSが増加**。
- 適応策の**実践**については、災害対策に関連する項目が上位となり、特に**熱中症対策関連の取組**が前回調査と比較し増加。

■全国の方を対象としたアンケート結果（N=11,286）

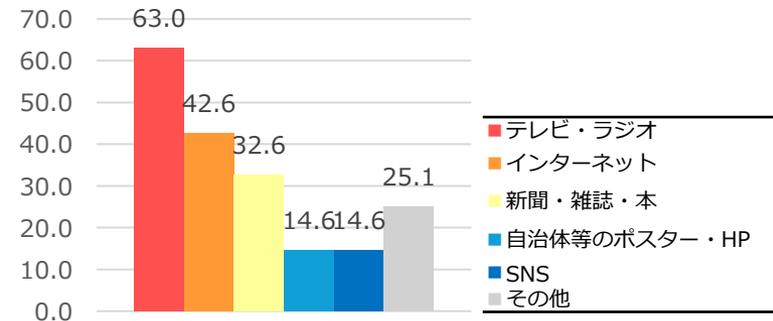
気候変動適応の認知状況



※令和4年度

言葉も取組も知っていた	5.6%
言葉は知らなかったが、取組は知っていた	18.9%
言葉は知っていたが、取組は知らなかった	20.1%
言葉も取組も知らなかった	55.4%

認知経路

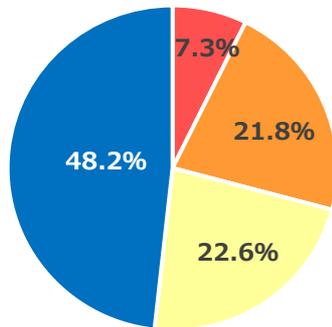


国民理解度調査- 2

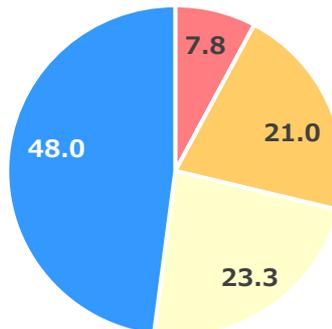
- 全国と比較して、認知度については大きな変化はなかった。
- 気候変動影響を感じる現象については、全国と比較し、冬の寒さや雪の降り方の変化や夏の暑さなど、気温に関する現象に対して影響を感じている傾向。

気候変動適応の認知状況[%]

全国

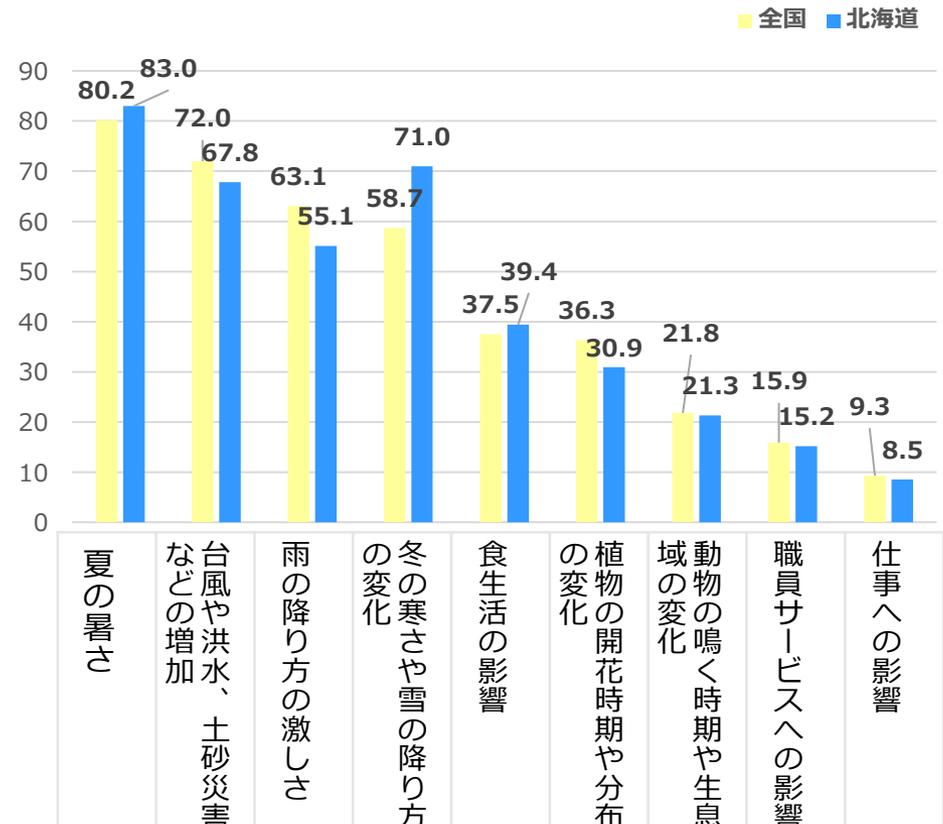


北海道



- 言葉も取組も知っていた
- 言葉は知らなかったが、取組は知っていた
- 言葉は知っていたが、取組は知らなかった
- 言葉も取組も知らなかった

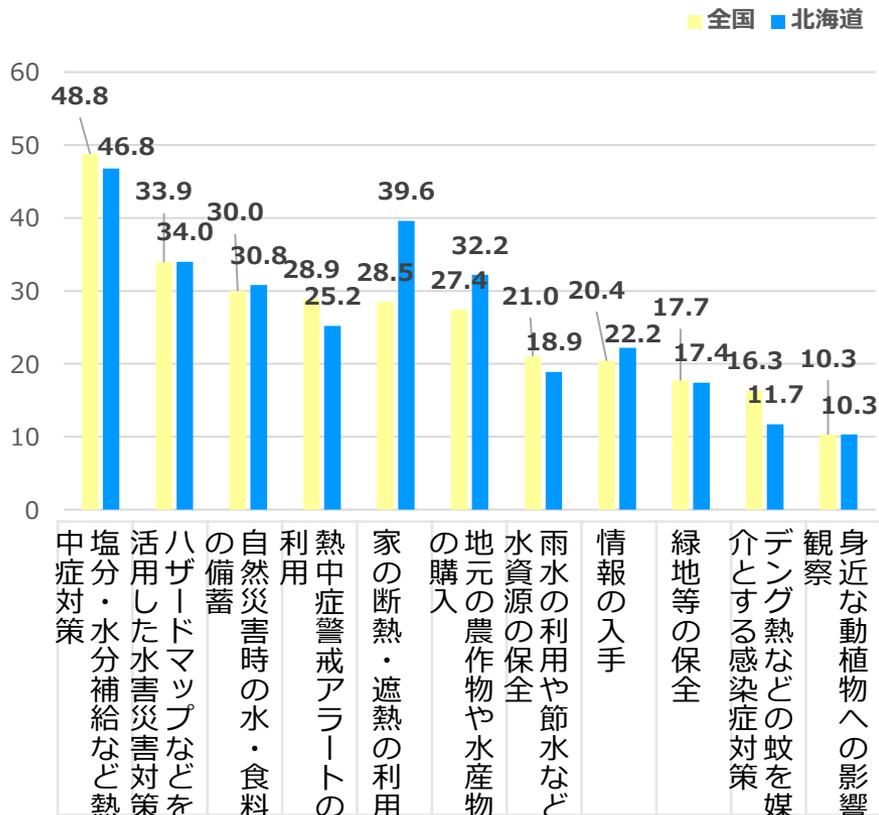
気候変動影響を感じる現象[%]



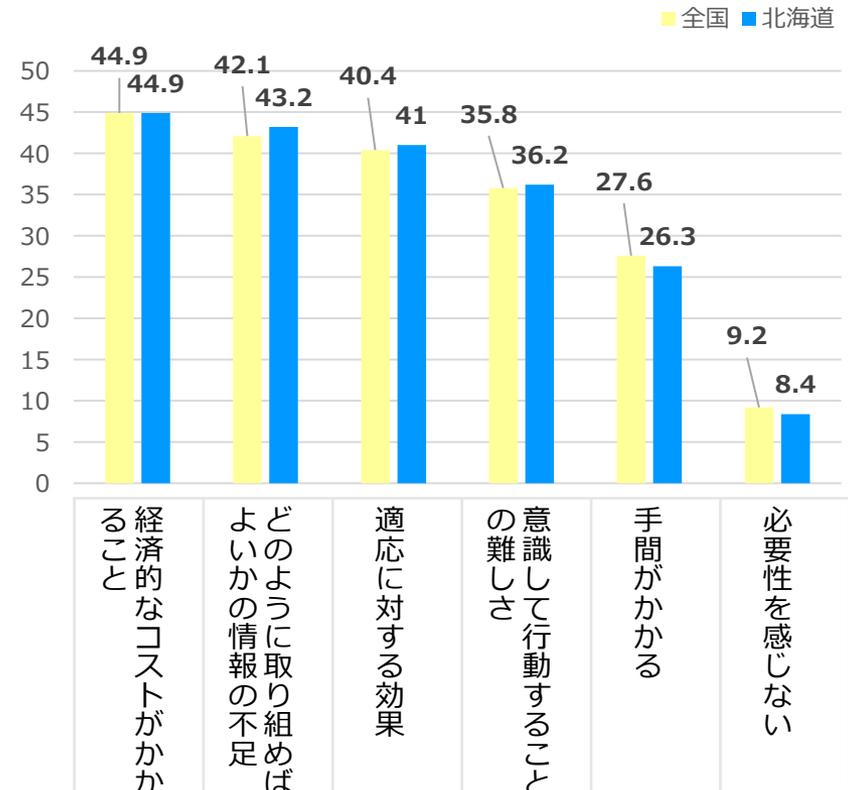
国民理解度調査- 3

- 夏の暑さを気候変動の影響と感じている中で、熱中症対策に関する取組への関心は低い傾向。一方で断熱への関心は全国と比較して高い。
- 適応策の実施に当たっては全国と比較しても大きな差はない。

実践している取組[%]



実践への課題[%]



国立環境研究所の取組

■ 「地域気候変動適応センター業務ガイドブック」の作成

目的

地域気候変動適応センター（以下、地域適応センター）の中長期的なあり方や、将来像を見据えた役割や機能、方向性等を整理することで、各地域での気候変動適応の実践に向けて地域適応センターの役割等を検討する礎になることを目的とする。

検討経過

現在：ガイドブック（案）を作成

- 地域適応センターの有志と4回にわたるディスカッションを行い現場の声を反映
- 環境省気候変動科学・適応室にもオブザーバー参加いただき、環境省の意向も反映

今後：ガイドブックの完成

- 全国の地域適応センターから、上記案について幅広く意見をいただいて完成
⇒12月の「地域の気候変動適応推進に向けた意見交換会」で活用

ここまでの議論の主な成果

- **適応策の将来像の共有**：地域ごとに取組の幅も奥行きも大きく異なる中、目指すべき**将来像「適応で地方創生に貢献」**をおおむね共有。
- **地域センターの役割の再整理**：地域センターの業務のうち特に「施策支援」は、多くのセンターが「取り組め(てい)ない」との認識。 → **施策支援を地域センターの中心的役割としていく(目指す)べきこと**をおおむね共有。(※逆に、現状でも程度の差はあれ施策支援に携わっているとの認識を共有。)

令和6年度気候変動適応セミナーについて

令和6年度 第1回気候変動適応セミナー 1st Climate Change Adaptation Seminar

「熱中症対策」

Heatstroke Prevention

開催日 令和6年7月22日(月)

申込期限: 7月19日(金) 15:00まで

受講方法 オンライン開催

主催: 国立研究開発法人国立環境研究所 気候変動適応センター
共催: 環境再生保全機構(ERCA)、環境研究総合推進費 1-2307、
環境研究総合推進費 5-18



令和6年度 第2回気候変動適応セミナー 2nd Climate Change Adaptation Seminar

「気候変動を踏まえた土砂災害対策」

開催日 令和6年9月11日(水)
13:00～15:00

受講方法 オンライン開催(Zoomを利用)

主催: 国立環境研究所 気候変動適応センター



令和6年度 第3回気候変動適応セミナー 3rd Climate Change Adaptation Seminar

「港湾における気候変動適応策」

開催日 令和6年11月15日(金)
13:00～15:00

受講方法 オンライン開催(Zoomを利用)

主催: 国立環境研究所 気候変動適応センター



■プログラム(予定)

登壇者(案) ※敬称略	講演内容(案)
国土交通省 港湾局 海岸防災課	『協働防護』による港湾における気候変動への適応 ～港湾における防災・減災対策について～
国土技術政策総合研究所 港湾・沿岸海洋研究部 港湾・沿岸防災研究室	港湾における気候変動の影響評価と適応策
	休憩
パネルディスカッション (質疑含む)	パネラー : 講演者2名 モデレーター : 国立環境研究所

気候変動適応の研究会について

- 国研同士の対話・共創・交流や、国研と地域気候変動適応センター（LCCAC）との対話・共創・交流を目的として、研究会の活動を実施。
- 4つの分科会を編成。7月25日に実務者会合を行い、12月に対面形式での研究会を開催予定。

研究会での分科会活動

※国研・LCCACが希望する分科会に所属。活動期間は2年間（～7年度末）

※敬称略

気候データシナリオ分科会

■ 今年度の取組

「次期気候予測データセットがやってくる！」の開催。

■ 開催日時・形式

10月10日（木）13:00-16:00@オンライン

■ 講演者（予定） ※敬称略

- ・ 海洋研究開発機構 石川洋一 氏
- ・ 気象研究所 辻野博之 氏
- ・ 気象研究所 川瀬宏明 氏
- ・ 国立環境研究所 石崎紀子

※講演後意見交換会を実施予定

農業水産業分科会

■ 今年度の取組

「気象予報技術と農林水産業分野での影響評価」の開催。

■ 開催日時・形式

11月1日（金）13:00-16:00@オンライン

■ 講演者（予定） ※敬称略

- ・ 気象庁 野津原昭二 氏
- ・ 農研機構 熊谷悦史 氏
- ・ 農研機構 杉浦俊彦 氏
- ・ 水産研究・教育機構 須藤健二 氏

※講演後意見交換会を実施予定

NbSと気候変動分科会

暑熱・健康・都市分科会